

行政評価シート(事前評価)

コード (105) 12-1-2	事務事業名 伝統文化センターの整備	所管部課 教育部社会教育課(旧生涯学習部社会教育課)
---------------------	----------------------	-------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	伝統文化センターを整備し、市民の利用に供するため		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等		
	市民団体から伝統文化センターを整備するよう要望があり、平成16年度から検討を開始した。		
事業開始時期	16年度から検討	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	20年度	21年度	22年度	目標	年度
	事業費(A)						
	国庫支出金・都支出金						
	内 地方債	千円					
	内 其他 ()						
	一般財源		0	0	0	300,000	
	所要人員(B)	人					
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	0	0	
臨時職員等賃金(C')	千円				2,500		
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	0	0	2,500		
単位当たりコスト							
(E)=(D)/ (開館日数)	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

評価指標の設定	活動等指標		単位	19年度	20年度	21年度	目標	0年度
	開館日数	目標値						
		実績値						
	(指標の説明 など) 開館がどれだけ見込めるかということ、それに要する経費とを勘案すべきと考える。							
	成果指標		単位	19年度	20年度	21年度	目標	0年度
	一 利用者数	目標値						
実績値		人						
二 市民満足度	目標値							
	実績値	%						
(指標の説明 など) 利用者数が一定程度見込めない場合は費用対効果から疑問となる。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	伝統文化団体から、もっと活動の場提供して貰いたい旨の要望が過去に出された経緯があって、伝統文化センターの整備について検討してきた。	
	事業実施上における制約や 財源確保等	財政状況から判断して、新たに施設として伝統文化センターを建設することは困難と考えられたので、既設の施設の利用が可能か否から検討を開始した。	
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

コード (105) 12-1-2	事務事業名 伝統文化センターの整備	所管部課 教育部社会教育課(旧生涯学習部社会教育課)
---------------------	----------------------	-------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業化する上での課題等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 計画を中止	<p>伝統文化団体からの要望により、伝統文化センターの整備を検討し始めた。</p> <p>しかし、本市の財政状況等を踏まると新たにハード(建物)の建設は困難と思われる。次善の策として旧郷土資料室の建物の再利用を検討したが、同建物の古さもあって、強度不足により再利用は困難である。</p> <p>他方、その後、市民要望も特になく、市民ニーズが高いとは思われない。</p> <p>以上の理由により、伝統文化センターの整備は、市民要望も特段なく、新たな建設事業費や旧郷土資料室の再利用等も難しく、現状においては計画の中止が相当と思われる。</p>
事業の必要性	1			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	1			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業化する上での課題等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 計画を中止	<p>伝統文化センターは、華道、茶道などの活動拠点として整備するもので、総合計画に位置づけられた事業である。</p> <p>当時、伝統文化団体からの要望により検討を始めたが、現在では、特段市民要望はない。</p> <p>整備にあたっては、向台公園内にある旧郷土資料室の再利用が前提であったが、当該建物の老朽度や強度不足により再利用は困難との結論である(平成19年度中に取り壊し)。市民要望もなく、旧郷土資料室の再利用も困難であることから、伝統文化センターの整備については計画を中止することが妥当である。</p> <p>なお、総合計画の後期基本計画の見直しにあわせ、当該事業の整理が必要である。</p>
事業の必要性	1			
事業主体の妥当性	1			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 計画を中止	<p>伝統文化センターの整備は、旧郷土資料室の再利用を前提に検討を進めたが、施設の老朽度や強度不足により困難との結論に至っている。一次評価記載のとおり、現時点では市民ニーズも高くないことから、整備事業については中止することとする。</p>